

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-31443

(43) 公開日 平成10年(1998) 2月3日

(51) Int.Cl.<sup>4</sup>  
G 0 9 F 17/00

識別記号

庁内整理番号

F I  
G 0 9 F 17/00

技術表示箇所

P

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平8-202944

(22) 出願日 平成8年(1996) 7月12日

(71) 出願人 596008297

株式会社西宜

福岡市西区姪浜町548-5

(72) 発明者 西本 久幸

福岡市西区姪浜町548-5 株式会社西宜  
内

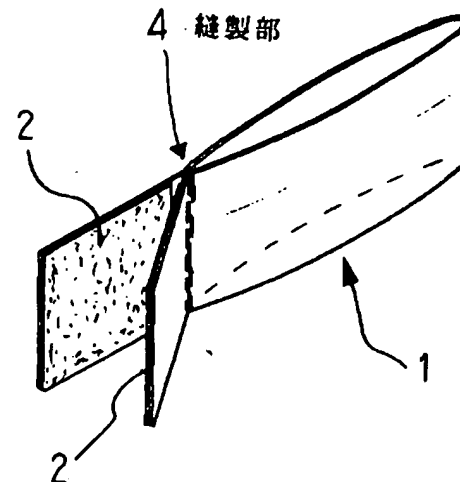
(74) 代理人 弁理士 有吉 教晴

(54) 【発明の名称】 のぼりのチチ

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、のぼりに取り付けるチチを縫製などによらないで、容易かつ確実に取り付けができるチチを提供することを目的とするものである。

【解決手段】 本発明は、帯状の相対するチチ本体1の内側端部に、両面接着テープ2、2の片面を貼着し、かつ内側端部を残した状態で輪状に縫製した構成とする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 のぼりなどに取り付けられるチチにおいて、革皮、あるいは強靱な布又は合成樹脂素材よりなる帯状の相対するチチ本体の内側面端部に、両面接着テープの片面を貼着し、更に上記相対するチチ本体の内側面端部を残した状態で輪状に連結した如き構成としたことを特徴とするのぼりのチチ。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】本発明は宣伝、広告、儀礼、あるいは装飾として用いられるのぼり、のれん、紅白幕、相撲のぼり、五月幟などの外周縁に取り付けられるチチに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来よりのぼりは、一般に方形よりなるのぼり本体の外周辺に、旗さお固定用としてのチチ部を縫製により環状に取り付けた構成とするものである。しかし縫製によるチチの取り付けは人手を要し、かつ逐一縫糸を切断処理するなど、大変な作業であり、非常に作業効率が悪い問題があった。そこで本願出願人は、平成6年11月22日に「のぼりのチチおよびその取付け方法」（特願平6-329751号）を特許出願をした。

【0003】この発明では、図4に示すように、相対するチチ輪aの内側面端部に、両面接着テープb、bを貼着し、図5に示すようにのぼりcの外周辺dを挟持してチチ輪aを取り付けてなるものである。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら上記構成のチチでは非常に作業効率が良くなる反面、図6に示すようにチチ輪aの端部がズレた状態で取り付けられたり、又長期間風雨に晒されることによって水分が次第に浸み込むと共に、開口部より押開く力が次第に働き、図7に示すように両面接着テープb、bの基端より次第に剥がれる問題があった。そこで本発明では上記問題点を解消するために、チチの端部を残した状態で輪状に縫製したチチを提供することを目的とするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明の上記目的は次の如き構成のチチによって達成できる。即ちその要旨はのぼりなどに取り付けられるチチにおいて、革皮、あるいは強靱な布又は合成樹脂素材よりなる帯状の相対するチチ本体の内側面端部に、両面接着テープの片面を貼着し、更に上記相対するチチ本体の内側面端部を残した状態で輪状に連結した如き構成としたことを特徴とするのぼりのチチである。上記の如く手段により、開口部より押開く力の働きを、縫製部で防止することが可能となる。かつ暴風雨に晒される時の水分の浸み込む確率を低くすることによって両面接着テープの基端からの剥がれを防止することが可能となる。更に縫製部を設けたことにより位置合わせが容易となり、のぼりなどに取り付け

る場合の端部のズレを生じさせなくなる。

【0006】

【発明の実施の形態】以下本発明の実施の形態を、その実施例を示す図面を参照し乍ら詳述する。図1に示すように、皮革、あるいは強靱な布又は合成樹脂素材よりなる帯状のチチ本体1の相対する端部内面に対して、両面接着テープ2、2の片面の剥離紙を剥がして貼りつけた構成とするものである。

【0007】従って両面接着テープ2、2の他面には剥離紙3、3が取り付けられた状態となる。そこで図2に示すように、相対する両面接着テープ2、2を残した状態、即ち上記両面接着テープ2、2の基端同志を縫製によりチチ本体1を輪状に連結する縫製部4を構成するものである。なお上記チチ本体1の両面接着テープ2、2の基端同志を連結する場合、縫製によって連結する他に、ヒートシールによって融着して連結する方法もあり、縫製による連結に限定するものではない。

【0008】そして上記構成のチチ本体1を図3に示すように、のぼりAの外周端に沿って剥離紙3、3を剥がして両面接着テープ2、2によって挟持するような状態で取り付けるものである。従ってのぼりAの外周端に予めチチ本体1の取り付け位置を決めておけば、初心者でも剥離紙3、3を剥がしてのぼりAの外周端を挟めば容易かつ、チチがずれることなく取り付けが可能となる。

【0009】又両面接着テープ2、2の基端同志を縫製により固着していることにより、風雨などによる剥がれなどによる事故が皆無となる。

【0010】

【発明の効果】以上述べて来た如く本発明によれば、初心者でもチチの取り付けが容易、かつ正確に行うことが可能となり、更に風雨によるチチの剥がれなどの支障が皆無となる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のチチ本体に両面接着テープを取り付けた状態を示す斜視図である。

【図2】本発明のチチを示す全体説明図である。

【図3】本発明のチチをのぼりに取り付けの状態を示す説明図である。

【図4】従来のチチを示す説明図である。

【図5】従来のチチによるのぼりへの取り付け状態を示す説明図である。

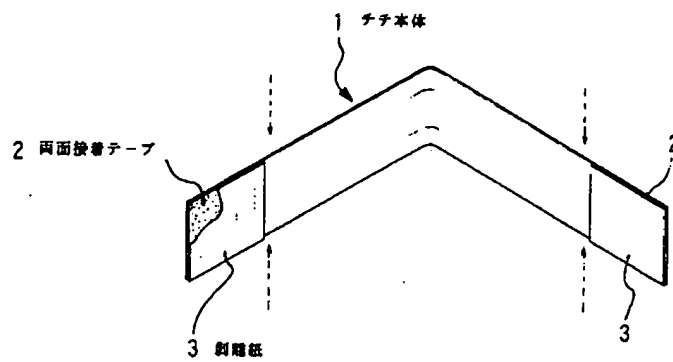
【図6】従来のチチの取り付け状態の問題点を示す説明図である。

【図7】従来のチチの問題点を示す説明図である。

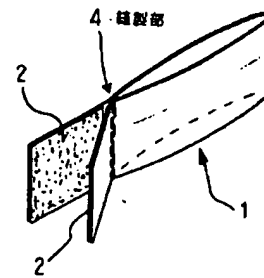
【符合の説明】

- 1 チチ本体
- 2 両面接着テープ
- 3 剥離紙
- 4 縫製部

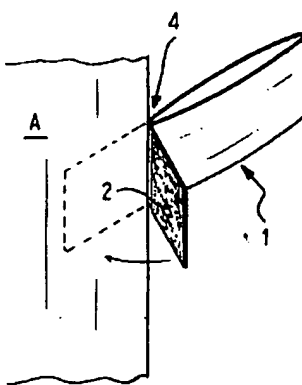
【図1】



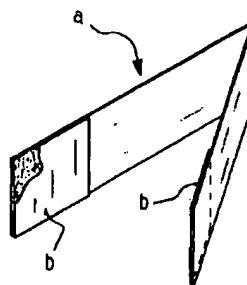
【図2】



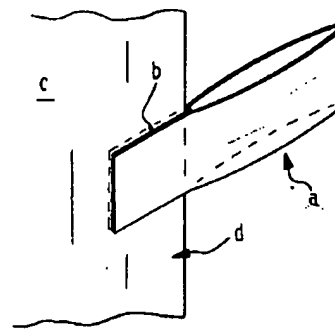
【図3】



【図4】

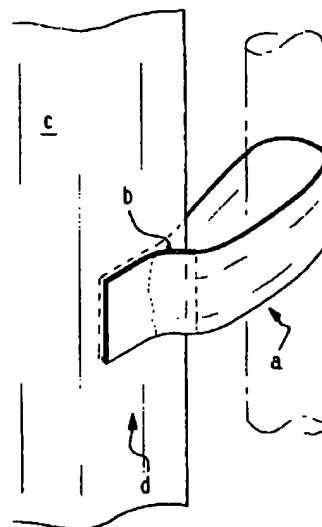
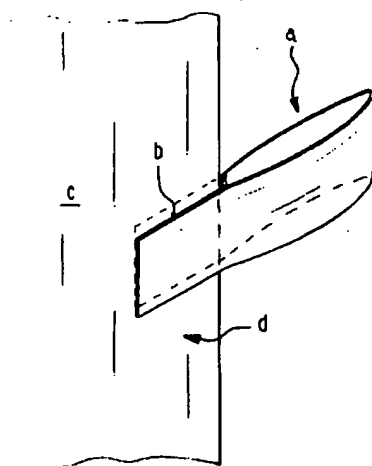


【図5】



【図7】

【図6】



DERWENT-ACC-NO: 1998-164951

DERWENT-WEEK: 199815

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Pole attachment loop for advertisement banner, shop curtain, flag - has double side adhesive tape with sticky surfaces on both sides, attached to inner surface in end parts of loop body

PATENT-ASSIGNEE: SAISEN KK[SAISN]

PRIORITY-DATA: 1996JP-0202944 (July 12, 1996)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 10031443 A	February 3, 1998	N/A	003	G09F 017/00

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 10031443A	N/A	1996JP-0202944	July 12, 1996

INT-CL (IPC): G09F017/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 10031443A

BASIC-ABSTRACT:

The loop includes a main body (1) which is made up of leather or plastic. The inner surface in the end parts of the body is fixed with a double side adhesive tape (2).

ADVANTAGE - Offers simple structure. Fixes banner reliably.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.2/7

TITLE-TERMS: POLE ATTACH LOOP ADVERTISE BANNER SHOP CURTAIN FLAG  
DOUBLE SIDE

ADHESIVE TAPE STICKY SURFACE SIDE ATTACH INNER SURFACE END PART  
LOOP BODY

DERWENT-CLASS: P85

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1998-131434